

OCP-IP、MENTOR GRAPHICS 社の CHECKERWARE 検証 IP ライブラリが利用可能であることを発表

オレゴン州ポートランド— 2005年 5月 10日— OCP-IP (Open Core Protocol International Partnership) は本日、OCP インタフェースが Mentor Graphics® CheckerWare® 検証 IP ライブラリへの最新の追加機能となったことを発表しました。CheckerWare ソリューションは、100 を超えるアサーションチェッカーおよびプロトコルモニターのライブラリで構成され、新規ツールの採用にしばしば伴うコストやリスクを発生させることなく、最先端のアサーションベースかつフォーマルな検証方法を採用できます。現在のところ、モニターは、3 月に発表された最新の標準規格である OCP v2.1 をサポートしています。OCP 2.1 には、最も一般的に使用される OCP 機能のプロファイル、およびアウトオブオーダー処理機能を強化する最新のタグ方式が含まれます。

CheckerWare モニターは最新の検証テクノロジーであり、シミュレーションおよびフォーマル機能検証時に OCP の検証に使用できます。また、モニターは、業界標準インタフェースのプロトコルインタフェース動作などの詳細なカバレッジ情報を収集して、ユーザーの検証方式のカバレッジ脆弱性を識別します。CheckerWare コンポーネントが設計に追加されて、検証フロー全体で使用されます。これにより、より高速で複雑な検証の実行が容易になり、デバイスが OCP 仕様完全に準拠することが保証されます。

OCP-IP の Ian Mackintosh 会長は次のように語っています。「OCP の堅牢で活気のあるインフラストラクチャは、優れたサービスや製品を提供している Mentor 社などの多数の独立系企業によりサポートされています。」「これは、このインフラストラクチャが業界全体で驚異的なまでに採用されてきたことを裏付けています。」

また、CheckerWare ライブラリを提供した Mentor Graphics 社の 0-In Functional Verification 事業部の Steve White 部長は次のように語っています。「Mentor Graphics 社は、OCP-IP の組織に貢献できることを誇りに思っています。OCP は、複雑な SoC を設計する我が社の顧客との相互接続に主要な役割を果たしています。」「CheckerWare OCP モニターが追加されたことで、顧客は、検証を完了させるのに必要な最新の手法を素早く採用することができます。」

OCP-IPについて

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は2001年、相互接続が可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する完全なソケット規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進、サポートする目的で発足しました。OCP-IPの Governing Steering Committee にはNokia社[NYSE: NOK]、Texas Instruments社[NYSE: TXN]、STMicroelectronics社[NYSE: STM]、東芝セミコンダクターグループ (TAEC東芝アメリカ電子部品社を含む)、Sonics社が参加しています。OCP-IPは非営利団体で、完全に支援されたオープンライセンス方式のコア中心プロトコルを初めて提供しました。OCPはIPコアの再利用を容易にし、SoC設計期間やリスク、製造コストを軽減します。VSIAはOCPソケットを支持していて、OCP-IPはVSI Alliance に加入しています。詳しい背景やメンバーシップ情報については、www.OCPip.org をご覧ください。

すべての商標およびサービスマークはそれぞれ各社の所有物です。